

第69回 大阪中学校選手権大会 女子決勝リーグ 戦評

平成27年7月28日 A① 10:00	和泉市立北池田中学校	3	9	11	6		29
豊中市立豊島体育館	大阪薫英女学院中学校	23	13	20	29		85

主審：黒岡 副審：亀甲

北池田④⑤⑥⑦⑧、薫英④⑥⑧⑩⑭、両チームともにハーフのマンツーマンでスタート。

北池田は④を中心にドライブで攻めるもなかなかシュートまでいくことができず、3Pシュートを打つも入らず、1Qはフリースローの3点のみに抑えられる。薫英は⑧のインサイド、⑭のアウトサイドで得点を重ね、1Qで20点差をつける。2Qに入り、北池田は差を縮めようとするが、薫英のインサイドを抑えることができず、前半を12-36で折り返す。

3Qで薫英はオールコートで強くあたり、⑭のスティール、リバウンドからのシュートで確実に点数を重ねていく。一方、北池田は④のドライブからのシュート、⑤の3Pなどで積極的に攻め、ファウルをもらうものの、なかなかスコアにつながらず、23-56で3Qを終える。

4Qは北池田④のバスケットカウントから始まる。しかし、薫英はゴール下を中心とする落ち着いたプレイで点差を広げる。北池田も1対1や3Pでゴールを狙うが入らず、点数を伸ばすことができない。最後まで落ちてプレイした薫英が終始リードするゲームとなった。

平松・池嶋

平成27年7月28日 B① 10:00	高石市立取石中学校	19	13	5	19		56
豊中市立豊島体育館	大阪市立東生野中学校	13	11	10	11		45

主審：開 副審：田辺

取石④⑤⑥⑦⑧、東生野④⑤⑦⑨⑩でスタート。

取石はハーフのマッチアップゾーンでプレッシャーをかけ、ターンオーバーからの速攻や⑥の1対1、合わせから得点を重ねていく。対して東生野もハーフマンツーマンからリズムをつくりながら、④のシュートや⑨のリバウンドなどで追いかけて19-13で1Q終了。

2Qで取石のディフェンスは変わらずプレッシャーをかけ続けるが、東生野が徐々に対応し、素早いパス回しから効率よくシュートを決める。取石も④の1対1や3Pで得点を重ね、両者譲らず32-24で前半を終える。

後半に入り、取石はオールコートプレスでしかけていくが、東生野は落ち着いてパスを回し④の3P、⑩の速攻からの得点で加点していく。残り4分で1点差とし、たまた取石はタイムアウトをとる。タイムアウト後も流れは東生野で進み、残り3分、東生野⑦の3Pでついに逆転する。その後、取石⑩のゴール下、リバウンドシュートで再逆転し、37-34で最終Qへ入る。

4Qでは両者譲らずゲームは進み、残り2分で取石が⑧の2連続3Pと⑥の速攻で突き放すも、東生野はタイムアウトを取らず、そのまま取石がリードを保って、56-45で取石に軍配が上がった。

祖母井・印南

平成27年7月29日 A① 10:00	大阪薫英女学院中学校	19	19	15	10		63
堺市原池公園体育館	大阪市立東生野中学校	7	11	13	11		42

主審：西田智 副審：杉山

薫英④⑥⑧⑩⑭、東生野④⑤⑥⑦⑨、両チームともにマンツーマンでスタート。

出だし互いにしっかり守り、簡単に得点を許さない。薫英はタイムアウト後、厳しいディフェンスからボールを奪い、④のドライブ、⑥の3Pなどで一気にたたみかける。東生野は④のシュートを返すが19-7で1Q終了。

2Qは薫英が④のシュートで先手を取る。薫英はオールコートのディフェンスでしかけるが、東生野はうまくパスをつなぎ、⑤の速攻や1対1、⑨のステップインで得点をあげる。薫英もドライブからの合わせやミドルシュートで得点を重ね、一進一退の攻防となる。しかし、薫英がポストにボールを集めると、東生野のファウルがかさみ、フリースローを与える。38-18で前半を終える。

後半は東生野が⑤の3Pで先制する。東生野が速い展開からのシュートで流れをつかみにいき、着実に加点するも、薫英⑥の3P、④の個人技で追い上げを許さない。互いにターンオーバーが目立ち、ノーゴールの状態が続く。そんな中、代わって入った薫英⑭がインサイドプレイで沈黙を破り、53-31で3Qを終える。

4Qでは東生野が④⑤の連続3Pなどで反撃するものの、序盤からのリードを薫英が守りきり、63-42で試合終了を迎えた。

京塚・福森

平成27年7月29日 B① 10:00	和泉市立北池田中学校	11	13	10	11	10	55
堺市原池公園体育館	高石市立取石中学校	10	12	12	11	11	56

主審：安井 副審：田辺

北池田④⑤⑥⑦⑧、取石④⑤⑥⑦⑩でスタート。

泉北地区同士の対戦ということもあり、開始2分間は互いにノーゴールの時間が続く。先制点は取石⑩のターンシュート。北池田も⑧の3Pや⑤のドライブからの合わせなどで得点していく。取石は⑥の1対1などが決まる。1Qは北池田が1点リードして終える。

2Qは取石が⑤⑩のインサイドを中心に、北池田はドライブでの加点と、互いに一進一退の攻防が続く。接戦のまま前半を折り返す。

3Q開始早々、取石⑦⑧の3Pが連続で決まり、北池田はたまたまタイムアウトを請求する。その後、北池田は④、取石は⑧の1対1で互いに譲らない。同点のまま最終Qへ。

4Qで北池田は④のリバウンドシュート、1対1からのバスケットカウントも決まり、残り3分半で5点のリードを奪う。そこから取石はリバウンド、ルーズボールをがんばり、45-45で延長戦に入る。

3分間の延長戦に入っても、北池田④、取石⑥が勝負所のシュートを確実に決め、再延長戦となる。

再延長では北池田が先手を取り4点リードする。しかし、取石⑧の3P、そして最後には④の逆転シュートが決まり、取石が大接戦を制した。近畿大会出場を決めた取石には、全国を目指しがんばってもらいたい。

尾形・小野

平成27年7月29日 A③ 13:00	高石市立取石中学校	4	10	13	19		46
堺市原池公園体育館	大阪薫英女学院中学校	23	24	8	17		72

主審：開 副審：亀甲

取石④⑤⑥⑦⑩、薫英④⑥⑧⑩⑭でスタート。

薫英⑩のシュートで先制。対する取石は⑥のリバウンドシュートで取り返す。薫英は得点后1-1-2-1のゾーンプレス、取石は2-2-1のゾーンプレスで流れをつかみにかかる。取石は果敢にシュートに行くものの、リングに嫌われ得点できない。薫英は速いパス回しでディフェンスを崩し、外のシュートを決める。さらに薫英は⑭を投入し、攻撃の起点をポストに切り替えて得点を奪う。4-23と薫英がリード。

2Qは薫英の思い切りの良いシュートが次々に決まる。取石は⑤のミドルシュートで得点するものの、流れは変わらない。タイムアウトから取石は④のドライブ、⑤のリバウンドシュートでがんばりを見せるが、14-47で前半終了。

後半に入ると、取石は前半以上の気持ちのこもったプレイで、⑥の速攻、⑧の1対1などで得点する。薫英は取石のディフェンスを攻めあぐね、なかなか得点が伸びない。取石は⑦の3Pで27-55とやや差を縮める。

後半からディフェンスが機能しだした取石に対し、薫英は3Pやペネトレイトで得点をあげる。対して取石も⑭のリバウンドシュートや⑤⑧のシュートが決まり、一進一退の攻防が続く。しかし、前半の得点差が勝敗を分け、72-46で薫英が優勝を決めた。薫英も取石も近畿大会で再び力を発揮し、全国大会出場を果たし、活躍を期待したい。

京塚・尾形

平成27年7月29日 B③ 13:00	大阪市立東生野中学校	7	9	21	9		46
堺市原池公園体育館	和泉市立北池田中学校	18	14	3	7		42

主審：平山 副審：秋山

東生野④⑤⑦⑨⑩、北池田④⑤⑥⑦⑧でスタート。

序盤、北池田が④の3Pや1対1でリードを広げていく。対する東生野も④の3Pなどで対抗するが、思うようにシュートが入らず、波に乗ることができない。7-18と北池田がリードして終える。

2Qに入り、東生野は⑨のハイポストからのドライブや速い展開からの3Pを狙うも得点につながらない。一方、北池田は外からのドライブやスペースへの飛び込みで着実に得点を重ねていく。北池田⑨や⑩のシュートもよく決まり、16-32で前半を終える。

16点差を追いかける東生野はディフェンスをオールコートマンツーマンに変化させ、北池田のミスを誘う。怒涛の攻めで、残り1分で行き詰った東生野は逆転に成功する。北池田は3Qに3点しか奪えず、勝負は4Qにゆだねられた。

先ほどまでのアップテンポなゲームとは打って変わり、両チームともにゴールの奪えない展開が続く。東生野は⑥⑦のジャンプシュート、北池田は⑧の3P、④の個人技。一進一退の展開の中、東生野④の3Pとランニングシュートが入り、タイムアップを迎える。最大16点差を逆転した東生野が勝利をおさめた。

小野・福森

第69回 大阪中学校選手権大会 男子決勝リーグ 戦評

平成27年7月28日 A② 11:30	堺市立平井中学校	9	15	15	11		50
豊中市立豊島体育館	茨木市立東中学校	17	16	10	18		61

主審：石川淳 副審：前田

両チームともマンツーマンでスタート。茨木東は⑤がリング下で存在感を見せ、序盤で得点を重ねる。その後、ディフェンスがインサイドに寄ったところをアウトサイドにボールをさばき、確率よくシュートを決める。9-17と茨木東がリード。

2Qに入り、平井が1-1-3のゾーンにディフェンスを変える。茨木東は⑤を抑えられ、得点がとれない。その間に平井はドライブやアウトサイドショットを中心にリズムよく攻撃し、得点を重ねる。茨木東はたまたまずタイムアウト。その後、茨木東もインサイドアウトから④がシュートを決め、24-33で前半を終える。

後半は茨木東が平井のゾーンに対して、ショートコーナーを起点に攻める。後半最初の得点は茨木東が奪うものの、平井が茨木東⑤へのマークを厳しくし、得点が止まる。ここから流れは一気に平井に。茨木東はタイムアウトをとるが流れは変わらず、39-37と平井が逆転に成功する。しかし、茨木東⑤、④が連続して加点し、39-43。

4Qは平井⑥の得点でスタートするが、その後、茨木東ペースとなる。茨木東が連続して得点し、残分4で10点差に開く。平井はオールコートでプレスをかけるが流れは変わらず、茨木東は⑤のリング下、速攻で加点する。最後まで落ち着いた試合運びを見せた茨木東が50-61で勝利を収めた。

武田・濱口

平成27年7月28日 B② 11:30	寝屋川市立第三中学校	12	19	18	18		67
豊中市立豊島体育館	大阪市立大正西中学校	17	8	11	15		51

主審：誠光 副審：梅林

寝屋川3は④⑤⑥⑦⑧、大正西は④⑤⑥⑫⑰。両チームともにハーフコートマンツーマンで落ち着いた守りを見せる中、寝屋川3は⑦⑧が得点を重ねる。対する大正西は⑤の1対1で攻めるものの、寝屋川3のディフェンスを攻めあぐねる。残分3で大正西がタイムアウト。大正西は⑧を投入し、2-1-2のゾーンを仕掛ける。そこから大正西⑤が得点し、リズムに乗る。12-17。

2Qで大正西はマンツーマンに戻し、⑤⑫を中心に攻める。しかし、寝屋川3が④の連続3Pと1対1で残分3に逆転に成功する。流れを一気に引き寄せたところで、大正西はたまたまずタイムアウト。しかし、リズムを変えることができず、31-25で前半を終える。

後半が始まると寝屋川3は⑤の3P、⑪の速攻で点差を広げる。大正西はタイムアウトから⑤を中心に攻める。しかし、なかなか流れを引き寄せられないまま49-36。

4Qに入ると、開始早々に大正西④⑤が積極的にゴールを攻め、得点を重ねる。一方、寝屋川3も落ち着いた攻めを仕掛け、流れを渡さない。大正西はディフェンスのプレッシャーを強めるが、寝屋川3は動ずることなく点差を広げていく。大正西も最後まであきらめない、中学生らしいプレイを見せる。最後は寝屋川3が67-51でしっかりと試合を締めくくり、大きな初戦を勝ち取った。

原田・後藤

平成27年7月29日 A② 11:30	茨木市立東中学校	19	20	14	21		74
堺市原池公園体育館	大阪市立大正西中学校	8	9	8	15		40

主審：武本 副審：西田尚

茨木東④⑤⑥⑦⑫、大正西④⑤⑥⑫⑰。両チームともにマンツーマンでスタート。大正西はドライブを中心とした攻めを見せる。対する茨木東は④を起点とした速攻と⑤のインサイドプレイを中心に攻める。

大正西はドリブルプレイを仕掛けるが、茨木東のディフェンスが堅実でミスにつながる。茨木東はターンオーバーからの速攻を繰り返し、得点を重ねる。さらに茨木東は⑦のミドルシュート、⑤のリバウンドシュートとバランスの良いゲーム展開で、前半を39-17とリードして終える。

後半に入っても茨木東はオールコートマンツーマンで激しいディフェンスを仕掛け、大正西のボール運びでスティールする。茨木東は⑦のミドルシュートなどで着実に得点を重ね、一気に点差が広がる。茨木東はメンバー交代をしながら、盤石のゲーム運びで勝負を決めた。

花田・福田

平成27年7月29日 B② 11:30	堺市立平井中学校	9	11	16	19		55
堺市原池公園体育館	寝屋川市立第三中学校	18	12	21	12		63

主審：畑迫 副審：梅林

平井④⑤⑥⑦⑧、寝屋川③④⑤⑥⑦⑧、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。寝屋川③は⑤のジャンプシュートやドライブイン、⑥⑦のシュートなどでバランスよく加点する。対して平井は⑤のジャンプシュート、⑧の3Pで応戦する。しかし、寝屋川③が⑤のスティールから④のブレイクが決まると、平井はたまたまタイムアウト。寝屋川③が優勢で9-18。

2Qで平井は寝屋川③⑤に対してフェイスガードを試みる。しかし、⑥⑦⑧が得点を重ね、点差は縮まらず20-30で前半を終了する。

後半、平井⑥の連続3P、⑤のブレイクで追い上げにかかる。7点差までつめたところで寝屋川③はタイムアウトを請求する。その後、寝屋川③は⑤のリバウンドシュート、④の得点で盛り返し36-51とする。

4Qに入ると、平井がオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。寝屋川③はリズムを崩し、平井が残り3分で5点差に迫る。寝屋川③はタイムアウトをとるが、タイムアウト後も平井の攻撃が続く。平井⑥の3P、⑨の連続得点でついに同点に追いつく。しかし、ここから寝屋川③の⑤が冷静なプレイを見せ、得点、アシストと活躍する。55-63と寝屋川③が勝利し、近畿大会出場を決めた。

北村・福嶋

平成27年7月29日 A④ 14:30	寝屋川市立第三中学校	10	12	7	15		44
堺市原池公園体育館	茨木市立東中学校	15	16	20	13		64

主審：石川淳 副審：村田

寝屋川③④⑤⑥⑦⑧、茨木東④⑤⑥⑦⑫。両チームともマンツーマンでスタート。茨木東は⑤のゴール下とそこからのインサイドアウトでバランスよく攻める。対する寝屋川③はディフェンスからの速攻、④の1対1で得点を重ねる。

2Q立ち上がり、寝屋川③④の3P、⑧のフリースローが決まったところで、茨木東はタイムアウト。茨木東は2-1-2のゾーンに切り替える。その後、茨木東⑤がゴール下を支配する。茨木東は1-2-1-1のゾーンプレスでプレッシャーをかける。寝屋川③も⑤の3Pや⑧のミドルシュートで対抗するが、22-31で前半終了。

後半が始まると、茨木東は⑤のゴール下、ディフェンスからの速攻でつきはなしにかかる。対して寝屋川③は④の3Pや⑤のミドルシュートで対抗する。しかし、茨木東が大きくリードを広げ、29-51。

4Q開始時から寝屋川③は2-2-1ゾーンプレスでプレッシャーをかけにいく。だが、茨木東は冷静にボール運び、⑤のゴール下シュートにつなげる。寝屋川③も④の3Pや速攻で意地を見せるが、44-64と茨木東が強さを発揮した試合となった。

花田・北村

平成27年7月29日 B④ 14:30	大阪市立大正西中学校	15	13	16	16		60
堺市原池公園体育館	堺市立平井中学校	14	19	19	11		63

主審：飯田 副審：前田

大正西④⑤⑥⑫⑰でハーフコートマンツーマン、平井④⑤⑥⑦⑧でオールコートマンツーマン。大正西は⑰のジャンプシュートで先制すると、④の高さを生かしたプレイでゴール下を攻める。対する平井は⑤の1対1で攻撃を組み立て、ディフェンスからの速攻で食らいつく。一進一退で試合が進み、15-14。

2Q、大正西は⑧の高さでゴール下を攻めるが、平井はディフェンスのプレッシャーを強め、相手のミスから速攻を連発し、リードを広げる。大正西は平井の1対1を守りきれず流れが悪くなる。しかし、大正西⑧がゴール下でがんばりを見せ、28-33と差をつめて前半を終える。

3Qで平井は1-2-1-1のゾーンプレスから得意の速い展開に持ち込む。その中で平井⑥の3Pを織り交ぜて32-46とリードを広げる。大正西は④⑧がゴール下を粘り強く攻め続けて、44-52で3Q終了。

4Qでは大正西が平井のゾーンプレスを直線的なドリブルで突破し、逆転に成功する。タイムアウトで落ち着きを取り戻した平井は⑧のミドルシュートで再逆転する。その後、両チームともに得点を加えるが、60-63で平井が逃げ切った。

福嶋・武田